



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	4,328	△3.7	△43	—	△37	—	△36	—
2019年6月期第3四半期	4,496	5.6	20	△74.6	27	△69.0	6	△86.4

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 △36百万円(—%) 2019年6月期第3四半期 6百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	△8.99	—
2019年6月期第3四半期	1.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	2,293	507	22.1
2019年6月期	2,176	555	25.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 507百万円 2019年6月期 555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	8.14	8.14

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	2.1	140	613.6	140	364.1	110	—	27.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期3Q	5,076,000株	2019年6月期	5,076,000株
2020年6月期3Q	1,026,552株	2019年6月期	1,026,552株
2020年6月期3Q	4,049,448株	2019年6月期3Q	4,049,448株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み景気は緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により足下で大幅に下押しされており、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、コア事業(生花祭壇事業)での売上拡大、生花卸売事業における物流のサービス強化と高度化、管理部門の体制強化、周辺事業の水平展開等を重点目標とした、最終年度となる中期経営計画に基づき、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、生花祭壇事業・生花卸売事業・ブライダル装花事業において前年同期比で減少したことから、4,328,983千円(前年同期比3.7%減)、営業損失は、主に生花祭壇事業における人件費率上昇等や、一部新型コロナウイルス感染拡大による売上減の影響により、43,845千円(前年同期は20,222千円の利益)、経常損失は37,281千円(前年同期は27,165千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は36,396千円(前年同期は6,825千円の利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、2,425,928千円(前年同期比5.2%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2019年7月から2020年2月までの売上高は横ばい、取扱件数は増加傾向で推移しており、この数年の傾向につきましても、大都市圏を中心として葬儀単価は下落しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いており、地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化しております。

このような状況の中で、当事業では、強みである機動力や顧客ニーズへの対応力を活かし、売上・利益拡大を図るべく東北・中部・関西・九州エリアへ新たに拠点を展開する等、積極的に各施策を実行してまいりました。一方で、当期間につきましても、主に関東エリア並びに九州エリアにおける売上減少及び、当事業全般における人件費率上昇の影響により、営業利益は253,234千円(前年同期比31.7%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましても、第2四半期前半までは前年同期比で市場相場が総じて下落傾向にあり販売単価への影響を受けました。更に本年3月からは、新型コロナウイルス感染拡大による国内イベント自粛等により内需が大幅に低迷いたしました。

この結果、売上高は1,315,391千円(前年同期比3.1%減)となりました。

東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2020年3月)によると、2019年7月から2020年3月までの切花累計の取扱金額は42,372百万円(前年同期比5.6%減)、数量では626百万本(前年同期比3.6%減)と金額ベース、数量ベースともに減少の傾向にありました。

このような状況の中で、当事業では引き続き、従来の生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力しており、その結果営業利益は第2四半期の前半及び新型コロナウイルス感染拡大による売上減の影響を受けたものの、第2四半期後半から第3四半期前半において利益率が回復基調で推移したため、23,472千円(前年同期比47.4%増)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、231,311千円(前年同期比5.5%減)となりました。少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける顧客獲得と商

圏拡大、新規出店によるリテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施しており、新規顧客との取引がスタートする等、一部にその効果は出はじめたものの当期間中における収益面での顕在化には至らず、営業損失は12,667千円(前年同期は8,908千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて堅調に推移したため、売上高は356,352千円(前年同期比6.4%増)、営業利益は392千円(前年同期は26,296千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。農業は、花卉の生産・販売を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ116,648千円増加し、2,293,636千円となりました。これは主に、建物及び構築物、繰延税金資産の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ165,204千円増加し、1,786,276千円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ48,556千円減少し、507,360千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想につきましては、2019年8月14日公表の業績予想から変更しておりません。なお、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は、現時点では見通すことは困難であるため、その動向を注視しております。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	625,380	569,697
売掛金	507,702	545,223
商品	21,977	29,349
仕掛品	5,065	8,157
原材料及び貯蔵品	40,519	54,546
その他	53,060	43,006
貸倒引当金	△9,901	△10,108
流動資産合計	1,243,804	1,239,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	618,641	658,856
減価償却累計額	△253,902	△250,556
建物及び構築物(純額)	364,739	408,300
車両運搬具	30,819	31,673
減価償却累計額	△23,910	△26,284
車両運搬具(純額)	6,908	5,389
工具、器具及び備品	160,435	167,171
減価償却累計額	△140,296	△139,423
工具、器具及び備品(純額)	20,138	27,747
土地	232,103	221,393
建設仮勘定	8,154	-
その他	15,066	15,826
減価償却累計額	△8,070	△9,141
その他(純額)	6,996	6,684
有形固定資産合計	639,040	669,514
無形固定資産		
その他	34,017	23,406
無形固定資産合計	34,017	23,406
投資その他の資産		
差入保証金	52,280	53,723
繰延税金資産	22,670	44,990
保険積立金	167,593	186,215
破産更生債権等	13,210	11,812
その他	15,237	75,489
貸倒引当金	△10,865	△11,386
投資その他の資産合計	260,126	360,844
固定資産合計	933,184	1,053,764
資産合計	2,176,988	2,293,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,336	208,530
短期借入金	70,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	287,183	197,261
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	88,199	60,958
未払法人税等	5,141	2,945
未払費用	115,421	102,549
賞与引当金	10,313	26,231
資産除去債務	11,650	11,650
その他	108,858	117,062
流動負債合計	849,202	1,134,289
固定負債		
社債	21,600	14,500
長期借入金	658,883	550,835
リース債務	25,507	13,394
退職給付に係る負債	54,328	59,190
資産除去債務	11,549	14,065
固定負債合計	771,869	651,986
負債合計	1,621,072	1,786,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	429,274	380,729
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	555,936	507,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19	△30
その他の包括利益累計額合計	△19	△30
純資産合計	555,916	507,360
負債純資産合計	2,176,988	2,293,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	4,496,586	4,328,983
売上原価	3,741,649	3,672,321
売上総利益	754,937	656,661
販売費及び一般管理費	734,714	700,506
営業利益又は営業損失(△)	20,222	△43,845
営業外収益		
受取利息及び配当金	49	37
受取賃貸料	1,789	986
補助金収入	2,704	4,915
保険返戻金	1,700	-
為替差益	3,164	2,566
その他	6,409	5,902
営業外収益合計	15,818	14,408
営業外費用		
支払利息	8,412	6,740
その他	462	1,104
営業外費用合計	8,874	7,845
経常利益又は経常損失(△)	27,165	△37,281
特別損失		
固定資産除売却損	297	3,891
リース解約損	113	-
災害による損失	-	9,177
特別損失合計	411	13,068
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	26,754	△50,350
法人税、住民税及び事業税	24,527	8,366
法人税等調整額	△4,597	△22,320
法人税等合計	19,929	△13,954
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,825	△36,396
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,825	△36,396

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,825	△36,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△11
その他の包括利益合計	△31	△11
四半期包括利益	6,794	△36,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,794	△36,407
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	28,791	7.11	2018年6月30日	2018年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月25日 定時株主総会	普通株式	12,148	3.00	2019年6月30日	2019年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,559,885	1,356,993	244,704	4,161,583	335,003	—	4,496,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,200	653,083	1,862	660,147	12,118	△672,265	—
計	2,565,086	2,010,077	246,566	4,821,730	347,121	△672,265	4,496,586
セグメント利益又は損 失(△)	370,591	15,924	△8,908	377,607	△26,296	△331,089	20,222

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△331,089千円には、セグメント間取引消去31,850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△362,939千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,425,928	1,315,391	231,311	3,972,631	356,352	—	4,328,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,855	633,887	1,404	641,146	25,420	△666,567	—
計	2,431,784	1,949,278	232,715	4,613,777	381,772	△666,567	4,328,983
セグメント利益又は損 失(△)	253,234	23,472	△12,667	264,039	392	△308,276	△43,845

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△308,276千円には、セグメント間取引消去38,651千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△346,928千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

2020年4月7日に発出された新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府の緊急事態宣言及びそれに伴う一部地方自治体の要請等に基づき、葬儀規模の縮小や結婚披露宴の延期・中止等が生じております。この影響により、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があります。影響額等については、現時点において合理的に算定することは困難であります。